

災害復興 応援定期

つなげよう希望、
つなげよう未来へ。

きぼうのあかり

©ROKIN

あなたの定期預金で 復興を支援しませんか？

突然の災害により、日常を失い、不安な時間を過ごされている方々がいます。家族との時間、大切な思い出、失われたものは様々です。災害復興応援定期「きぼうのあかり」は、そんな被災地の方々に応援したい想いから生まれました。この定期預金を通じ、あなたの想いが被災地に届き、「希望」の「あかり」となって未来への一歩の力となりますように。

災害復興応援定期 一 寄付金の流れ



商品概要

商品名	災害復興応援定期
ご利用いただける方	個人および団体のお客さま
預金種類	スーパー定期預金・大口定期預金
お預け入れ期間	1年
お預け入れ金額	3万円以上
継続のお取扱い	元金継続型または元利継続型
お預け入れ形態	通帳型 ※お申し込みの際に【「災害復興応援定期」の取扱いに関するご説明書 兼ご確認書】をご提出いただけます。
預金金利	■「スーパー定期預金」・「大口定期預金」の店頭表示金利より年0.05%引き下げた金利とします。 ■預入日（自動継続日）現在の店頭表示金利が年0.05%以下の場合、金利引き下げ幅は、店頭表示金利と同一とし、預金金利は年0%とします。 ※なお、金利情勢が大幅に変動した場合は、年0.05%の金利引き下げ幅を変更する場合があります。
寄付先団体	「日本赤十字社 静岡県支部」、 「静岡県ボランティア協会」

寄付金の取扱

■ 寄付金額は、お客さまの寄付負担（金利引き下げ分の利息相当額「年0.05%」）と当金庫の拠出金の合計額とし、当金庫から寄付を行います。
 <寄付金の贈呈>
 ・2026年5月以降、毎年5月頃に寄付先に贈呈します。
 <お客さまの寄付負担>
 ・寄付金の集計期間は、毎年4月から3月末日までとします。
 ・災害復興応援定期の期末残高をもとに、金利引き下げ分の利息相当額を算出し寄付金額とします。
 <当金庫の拠出金>
 ・お客さまの寄付金額と同額を当金庫が拠出します。ただし、下限を20万円（お客さまの寄付分+当金庫の拠出分）とし、本定期預金受付枠を20億円（お客さまの寄付分100万円+当金庫の拠出分100万円）とします。
 ・なお、当金庫の拠出金の上限は変更する場合があります。

預金保険制度

■ この預金は預金保険の対象であり、同保険の範囲内（1預金者あたり当金庫での全額保護の預金商品以外の預金総額のうち、元本 1,000 万円までとその利息）で保護されます。

ご注意事項

■ 金利上乘せ定期との併用はできません。
 ■ ATM、インターネットバンキングでのご契約はできません。
 ■ 中途解約の利率は別に定める中途解約利率が適用されます。
 ■ 寄付金の領収書は発行しません。また、寄付金控除の対象とはなりません。
 ■ 災害復興応援定期の詳しい説明書は、営業店窓口にご覧いただけます。

きぼうの
あかり

「定期預金」のご契約が、寄付へ繋がります。

皆さまよりお預かりしたご厚意は、被災者の方々を支援する団体「日本赤十字社静岡県支部」と、被災地で活動するボランティアの方々を支援する団体「静岡県ボランティア協会」の、それぞれの立場で活動し支えあう人々を応援するために役立たせていただきます。

本商品の趣旨にご賛同いただいた皆さまからお預かりした定期預金の利息の一部は、以下の2団体へ寄付いたします。

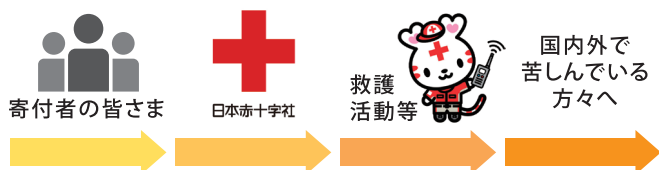


日本赤十字社の活動は、地域のみなさまをはじめ人々の「いのちと健康、尊厳を守る」ためにあります。

赤十字は国内外でさまざまな災害救護業務を行っています。

日本赤十字社は、地震や台風等の災害が発生した際、救護班を派遣して医療救護活動を実施するほか、救援物資の配布、こころのケア、ボランティア活動等を行います。また、日頃から災害の発生に備え、地域住民の方々が自らのいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的に、赤十字防災セミナーを開催しています。

日本赤十字社が実施する人道的活動



医療救護



救援物資の配布



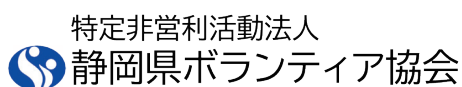
血液製剤の供給



義援金の受付・配分



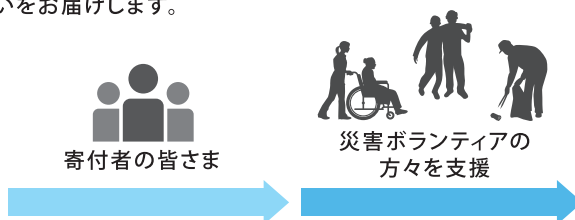
赤十字防災セミナー



静岡県ボランティア協会は社会の様々な問題や課題に対し、市民自らが主体となって取り組むボランティア・市民活動を推進するため、1977年に誕生しました。「誰もが安心して暮らせる社会」を目指し、個々の力をさらに大きな力へと変えていく「中間支援機関」として活動しています。

災害時のボランティア受け入れ活動資金

被災地の状況を把握するための先遣隊の派遣や資機材の購入など、災害ボランティアを受け入れるために必要となる活動資金です。直接被災地に出向くことはできないけれど「被災地の復興を応援したい」「被災された方々の役に立ちたい」といったあなたの想いをお届けします。



皆さまのお力添えは、被災地が再び立ち上がる希望です。あたたかなご支援お待ちしております。

